

会 議 録

会議名	令和7年度第1回西尾市図書館協議会
日 時	令和7年6月20日（金）午後3時～4時30分
場 所	西尾市立図書館 3階 会議室
出席者	安井会長、今本委員、浅井委員、桐山委員、山崎委員、深谷委員、辻村委員、伊與田委員
欠席者	富田副会長
市係等出席者	菅沼教育部長、伊奈図書館長、小林館長補佐、黒野主任主査、古居主任主査
傍聴者	なし
<p>協議事項等については、以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会あいさつ 安井会長</li> <li>2 自己紹介 委員名簿順にて</li> <li>3 報告             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和6年度事業実績について（古居主任主査・黒野主任主査より説明）                 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 図書館事業                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ICタグ貼付事業                         <p>令和10年度の図書館情報システムの更新に合わせて、図書館資料の管理を従来のバーコード管理からICタグ管理にするため、令和4年度から既存資料にICタグの貼付を進めています。令和4年度はすべての参考図書と郷土資料にICタグを貼付し、令和5年度にはICタグに反応するセキュリティーゲートを本館1階出入口に設置しました。令和6年度は本館2階のすべての一般書と1階の一部の児童書 計約10万冊にICタグを貼付しました。</p> </li> </ol> </li> <li>(2) 行事等の開催                         <p>市民の読書活動や文字文化の普及を図り、市民の来館の機会を増やすため本館と分館でイベントや講座等を開催するとともに、読書通帳を活用し、子ども読書活動の更なる推進に努めました。</p> </li> </ol> </li> <li>ア 図書館主催行事                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(ア) 定例行事は、職員及びボランティアにより毎月定期に開催しているお話し会の実施状況です。</li> <li>(イ) 全館共通行事の「西尾っ子読書フェスティバル」は、西尾市子ども読書活動推進計画において定めている「西尾市子ども読書の日」に基づき、毎年4月23日前後の土日を中心に開催しています。                             <p>令和6年度は、4月27日（土）28日（日）を中心に行事を行い、絵本・児童文学作家の平田昌広さんの絵本ライブや、読書通帳ケースづくり、家庭に本のある環境をつくるための本棚や図書館バッグを作る講座など、様々な行事を開催し、来館の促進を図りました。</p> <p>「読書通帳 ガチャチャレンジ」を、12月20日から3月16日までの期間で、読書通帳に30冊以上記帳した中学生以下の子どもを対象に、ガチャでオリジナル缶バッジ等をプレゼントするイベントで、読書通帳の利用促進と子ども読書活動の推進に努めました。</p> </li> </ol> </li> </ol> </li> </ol>	

(ウ) 本館の図書館講演会では、毎年、西尾市出身の方による講演会を開催しています。令和6年度は高橋敬忠氏を講師に迎え、「西尾が生んだ大実業家『中島董一郎の世界』」と題し、講演会を実施しました。また、子ども向け講座として「元気いっぱい子ども司書養成講座」や「読書感想文講座」、「調べ学習応援講座」、「ボランティア養成講座」などを開催しました。

(エ) 一色学びの館は指定管理者である㈱エムアイシーグループが運営しています。MANABIフェスタをはじめ、映画上映&講演会「絵本画家『いわさきちひろの世界』」や読み聞かせコンサート、かんたん工作などの講座を開催しました。

(オ) 吉良図書館は、㈱図書館流通センターに業務委託しています。きらっとまつりをはじめ、歴史講演会「地元の歴史の楽しみ方 東西吉良氏の抗争史論争を紐解く」や子ども向け講座「キッズ・マネー・スクール おみせやさんごっこ」などを開催しました。

(カ) 幡豆図書館も吉良図書館同様、㈱図書館流通センターに業務委託をしています。はずっとまつりをはじめ、金城学院大学大学院非常勤講師の小幡章子氏による講演会「絵本から物語へ」や土を使わない寄せ植え講座、としょかん科学クラブなどを開催しました。

#### イ その他協力的行事

岩瀬文庫との協力的行事である「第19回にしお本まつり」では、絵本作家の長野ヒデ子氏による講演会やおはなしボランティアによるおはなしメドレーなどを開催しました。

#### (3) 子ども読書活動の推進

##### ア 学校・保育園配本サービス

授業で利用する図書や小学校の教室に置く読書用の本55,452冊を配本サービス等により貸出をしました。

##### イ 学校・保育園来館受入れ

保育園・幼稚園の見学が2回で72人、よみきかせが6回で328人、小・中学校の見学・調べ学習は12回で454人、中学校の職場体験は15校で41人を受入れました。

#### (4) 読書通帳サービス

##### ア 読書通帳冊数・利用回数

総合計で新規登録冊数が1,054冊、更新冊数が1,112冊、利用回数は49,247回でした。

##### イ 年齢別貸出冊数

15歳以下が425,854冊で全体の42.9%と一番多く、次いで50歳以上が325,735冊、次に23から49歳が221,940冊で、16から22歳が19,367冊となり、合計で992,896冊でした。

#### (5) ブックスタート

保健センターで実施される4か月児健診の赤ちゃんと保護者に絵本を介した赤ちゃんへの語り掛けの大切さを伝える事業で、受診者全員に絵本を1冊プレゼントし、いつでも読みきかせができる環境を作りました。フォローアップ行事として、乳幼児向けのおはなし会を各館で実施しました。

#### (6) 図書館ボランティア活動状況

図書館の事業はボランティア活動で支えられており、おはなし会や本の修理などに15グループ合計252回のご協力をいただきました。

#### (7) 電子図書館サービス

##### ア 電子書籍の蔵書数

令和6年度の購入数は868冊、地域資料は64冊、その他は902冊で合計1,834冊でした。地域資料は広報にしおや西尾の統計、外国人のための生活情報誌を電子化してPDFで見えるものです。その他は、青空文庫で著作権の切れた名作小説が無料で

配信されているものです。

期限切れについては、電子書籍の購入形態の違いから説明します。

- ① ライセンス販売型：購入すると永久的にライセンスがあるもの
- ② 期間限定型：2年間（24か月）はライセンスがあるもの
- ③ 期間限定型・回数限定：24か月もしくは52回借りたらライセンスが消滅するもの

令和6年度の期限切れ437件は、24か月もしくは52回借りられた本のことです。

#### イ 電子書籍の利用状況

貸出冊数は7,113冊、予約数は1,326冊、閲覧回数は「読む」ボタンを押した回数で17,494回です。

#### ウ 電子雑誌の利用状況

閲覧回数は2,571回、実利用者数は1,093人で、それぞれ「読む」ボタンを押した回数とボタンを押した人数です。

### (8) 障害者サービス

#### ア 郵送貸出サービス

高齢者の郵送件数は20件、貸出冊数は20冊、障害者の郵送件数は12件、貸出冊数は26冊です。

#### イ 録音図書等貸出サービス

令和6年度はデージー、点字図書ともに0件です。デージーとはデジタル録音図書のことで、小説をCDなど音で聞くことができるものです。

## 2 蔵書冊数（全館）

区別では、一般書が460,309冊、児童書が236,075冊、その他が87,685冊で合計784,069冊です。その他とは、郷土資料や参考資料、辞典などです。

## 3 図書館利用状況

### (1) 全館

全館での貸出冊数の合計は1,063,212冊で、令和5年度が1,060,269冊でしたので少し増えています。

### (2) 本館・分館・配本所別貸出冊数

本館、分館、ふれあいセンターなどでの貸出冊数の集計です。

## 4. 主要事業委託料及び補助金

### (1) 委託料

主な委託料として、電算業務委託料は10,015,129円、図書館業務委託料は、48,774,000円、施設維持管理委託料は12,313,789円、一色学びの館指定管理料は44,758,055円です。

### (2) 補助金

令和6年度は国、県の補助事業はありません。

## 5. 考察

利用状況について前年度と比較すると、入場者107.5%、貸出者数102.2%、貸出数100.3%とほぼ横ばいの状況でした。一色学びの館が118.1%と大きく増加しており指定管理業者によるきめ細やかなサービスと創意工夫のあるイベントによる効果であると考えています。

貸出冊数において、15歳以下の貸出冊数の割合が全体の約40%を占めていることは、読書通帳サービスの効果が継続していると考えています。読書通帳サービスについては西尾信用金庫の協力を得ています。

### (質問・意見)

- ・利用状況は前年度と比較して横ばいだが、一色学びの館は入館者数が伸びている。子ども達や親子で利用しやすいように工夫されていることに感心した。  
⇒入館者については、本館は若干増加、一色は大幅増加、吉良・幡豆は若干減少しています。その配本所が増加しています。

最近の傾向は、読みたい本をネットで予約してふれあいセンターで受け取る人

が多いため、配本所の利用が多くなっています。

- ・一色学びの館では特色あるイベントを行っているのか。  
⇒指定管理なので市からこうして下さいと言っているわけではなく、独自に考えてイベントやワークショップを開いています。4館にはそれぞれ特色があり、本館は総括、一色は絵本、吉良は歴史や読み物、幡豆は自然なので、一色は子どもや親子の利用が多いと思います。  
エムアイシーの企業努力により、利用者が集まっていると思います。  
令和7年度の行事予定で、36ページに一色学びの館の行事が載っています。  
吉良や幡豆と比べて、企画展示やMANABIフェスタなどのイベントが多いことも利用者数増加の要因であると思います。
- ・多世代交流プラザで学習の講座をやるかと聞いているが、図書館でも講座があるのか。  
⇒令和7年度の子ども向け講座として「おはなしスイーツ☆クッキング」を開催する予定で、プラザの場所を借りて行います。

#### 報告(2) 各館の運営状況について(小林館長補佐より説明)

各館の改善レベル判定書による運営状況を報告します。評価の基準については、「○」は評価項目の内容が達成できている場合で、「◎」はそれ以上の成果があった場合で、「△」は評価項目内容の達成度が70%程度のものです。

#### 《本館の判定書について》

##### (1) 施設運営 1) 人員配置・組織運営

令和3年度に司書が1名減となり、令和6年度もそのままであるため「△」の評価としました。

##### (2) 施設管理 4) 防犯対策

昨年度の評価が「△」だった所で、休館日に未施錠の西側出入口から運送業者が入り、警備会社、警察に通報が入ったという事案がありました。日常的に荷物を届けている業者が、未施錠であったため休館日と気付かずに館内に入ったためでした。

施錠の確認を確実にし、再発防止に努めます。

##### 6) 法令順守

消防署立ち合いのもと、地震及び火災時の避難訓練を実施しました。

##### (4) 事業展開 3) 事業の質

西尾市出身の実業家や大河ドラマ関連の講座などの地元や歴史を意識した行事や、西尾っ子読書フェスティバルなど子どもや親子で参加できるイベントに多くの人が参加しましたので「◎」としました。

##### 4) 数値目標の達成度

個人貸出点数の目標値である一人当たり7.0冊が実績では6.3冊であったため「△」としました。昨年度は6.2冊でしたので少し増加しましたが、7.0冊にはおよびませんでしたので今後も努力していきます。

##### (6) 利用状況・財務状況 1) 利用状況

入館者、利用者数は減少したままですが、貸出冊数は徐々にコロナ禍前の数字に戻ってきています。

#### 《吉良図書館の判定書について》

吉良図書館については、ほぼ「○」ですが、1つ「△」があります。

##### (6) 利用状況 1) 利用状況

昨年度と比較して利用者数は増加していますが、貸出冊数は減少しています。

#### 《幡豆図書館の判定書について》

幡豆図書館についてもほぼ「○」ですが、1つ「△」があります。

##### (4) 事業展開 4) 数値目標の達成度

一部の行事について、当初の目標が達成できないことがありましたので「△」となりました。詳細は、科学クラブが定員20人のところ19人、小幡章子さんの「絵本から物語へ」が定員30人のところ26人だったためです。

#### 《一色学びの館の判定書について》

##### 【上半期】

##### (2) 施設運営 事業の質

「A+」と評価しました。報告書から利用者が満足していることが確認できました。特に読み聞かせコンサートでは過去最高の参加者数となりました。

##### (4) サービスの維持向上 満足度向上の取組み

定例行事のおはなし会で、子どもや親子が集まらない場合には日程を一部変更して実施するなど集客に取り組みました。また、1階の五感ゾーンをリニューアルし、1日のうちに数回ヒーリング音楽を流して居ごちの良い空間を演出しました。

##### 【下半期】

##### (1) 基本事項 職員研修

図書館職員の専門研修を積極的に実施しているため「A」判定としました。昨年度は研修が2回のみだったため「B」でしたが、令和6年度は8回の研修を実施したことを評価しました。

##### (4) サービスの維持向上 利用サービスの提供

下半期からGoogleフォームでの申込みを受けるなど、利用者の利便性の向上に努めたため「A」と評価しました。紙媒体のみではなく、SNSを積極的に使用して情報の発信に努めていく必要があります。

#### (質問・意見)

- ・本館の人員配置については、司書の人数が定数に達していないということか。募集しても応募がないのか。  
⇒以前は事務職、司書、学芸員で分けていて、専門職の募集もしていましたが、司書は募集がある時とない時がありました。現在は一般職のみとなっています。一般職の中で司書資格のある人が図書館に配属となることはあります。
- ・司書は現在何人いるのか。  
⇒9人の職員のうち4人が司書資格を持っています。
- ・定数はあるのか。  
⇒定数は特にありません。
- ・不足であることはどこで判断するのか。  
⇒さまざまな行事の企画や準備、貸出、返却、レファレンス、資料保存業務について手が回らない状況が常にあります。業務の一部を任用職員へお任せしていることもあります。
- ・再任用職員で資格のある職員が何人かいるのか。  
⇒公募により一般の方を任用職員として採用していますので、司書資格のある人ばかりではありません。
- ・学校図書館は20人の司書がいるが、司書免許がなければなれない。退職した司書教諭も採用している。会計年度任用職員の応募条件にも司書資格が必要になっている。司書免許のない人が、業務をやっていることに対して不安を感じる。  
⇒9人の職員は、図書担当と庶務担当に分かれていて、図書担当は5人でそのうち4人が司書で、選書業務など専門的知識が必要な業務を行っており、庶務担当は3人で施設管理や文書関係を行っています。  
平成25年の時、司書は12人でしたが、その後徐々に減り現在は4人です。定期異動により司書資格を持っている人がくる場合もあれば、ない場合もあります。司書を増やすのは人事的には難しいのではないかと思います。
- ・司書が足りないことで業務が上手く進まないのであれば、しっかり要望すべきだ。  
⇒職員採用について、要望する時期があるので司書の採用を要望していきます。

司書が専門的業務としてやらなければいけない業務は司書がやっていますが、4人では負担が大きいため何人が採用すべきという判断により「△」になっていますが、司書がやるべき業務を資格のない人間がやっている訳ではありません。

#### 報告（3）その他 市民の声について（小林館長補佐より説明）

令和6年度に図書館に関する市民の声について、項目別に主なものを説明します。

##### <図書館運営について>

- ・図書館運営について16件のご意見をいただきました。その中の②④⑤⑩は似た内容で、一色学びの館の利用方法に関して、利用者のマナーについてご意見をいただきました。2階にも職員がいますので、利用者が大きな声を出したり、他の利用者の迷惑になる行動があれば注意しています。
- ・⑦寺津ふれあいセンターの図書スペースで、子どもに読み聞かせをしたら勉強している人がいるからと言われたため、ふれあいセンターの利用方法を示してほしいとのご意見です。

回答不要でしたが、生涯学習課と調整して図書スペースで読み聞かせをすることに支障はないこと、話し声が気になるようなら、学習している人へ空いている部屋を案内することを取り決めました。

- ・⑩幡豆図書館の学習利用時間を21時頃まで延ばしてほしいとのご意見です。幡豆図書館の現在の利用者と時間延長に伴う費用を考えると、開館時間を延長することは難しいのですが、図書館南側にある文化交流センター北館は午後9時まで開館していて、空いた部屋があれば学習スペースとして利用できる旨の回答をしました。

##### <図書館施設について>

- ・③⑤⑥⑧は似た内容になっています。分館を含め図書館以外では、ふれあいセンターなどで貸出や返却等ができる場所がありますが、返却のみの施設もあるため、もっと貸出や予約本の受取ができる場所を増やしてほしいとのご意見や、移動図書館自動車を走らせてほしいというご意見をいただきました。

移動図書館自動車については、今後検討すべきことと考えています。

駅の近くや花ノ木小学校区で予約本の受取りができる場所を作ることは、現時点では考えていない旨の回答をしました。

- ・⑩本館の学習室が満室になることが多いため、学習室の拡大や近くの学習スペースのある施設がネットでわかるようにしてほしいこと、飲食コーナーがほしいとのご意見です。

回答は不要ですが、学習室が満席になった場合にはXで知らせているおり、近くの公共施設の学習スペースを掲示し、3階のカウンターでもご案内をしています。飲食コーナーは2階のトイレ横にあります。今回、3階のトイレ横にも飲食コーナーを新設しました。

#### （質問・意見）

- ・幡豆図書館の2階の部屋で読み聞かせを行っているが、向いの部屋が学習室になっているため、声が聞こえてしまうので申し訳ないと思っている。先日、職員の方が学習室にいた中学生の男子7人へ「今から読み聞かせをやるから、声が聞こえてしまうので申し訳ない」と伝えたところ、その中学生達は全員読み聞かせを聞くために部屋に入って来てみんな満足して帰って行った。今まで声掛けをしていなかったが、大きい子でも楽しめるので、声掛けが必要だったことがわかった。

## 4 議題

### 議題（1）令和7年度図書館事業計画及び予算について（伊奈館長より説明）

#### ≪報告≫

新聞、市公式LINE、ホームページで周知していますが、6月3日から一色学びの館が電気システムのトラブルで臨時休館しています。現在は場所を一色町公民館

1階の部屋に移して、本の貸出、返却、予約などの図書館業務を行っています。改修工事が8月末ごろまでかかりますが、できる限りの講座やおはなし会は行っていきます。

#### 4 図書館活動

##### (2) 図書館の施設・サービスの充実

###### ア 資料整備

蔵書管理の効率化や貸出・返却等のセルフサービス化による図書館サービスの充実を図るため、ICタグシステムの導入を進めています。令和10年度までに本館と分館の蔵書にICタグを貼付して、新図書館情報システムと連携していく予定です。

###### イ 図書館サービス

図書館に来館することなく利用できる「電子書籍」及び「電子雑誌」の貸出、閲覧サービスを継続して実施し、幅広い利用者の獲得に努めます。

###### ウ 施設維持管理

安全な施設管理とともに、老朽化する施設の修繕を計画的に実施していきます。

##### (3) 主な行事計画

はじめに、西尾市にゆかりのある詩人 茨木のり子が来年、生誕100年を迎える節目の年で、7年度は皆さんに茨木のり子を知っていただくための計画がいくつかあります。

###### ウ 講座・イベント

本館では、2月15日に図書館講演会を「茨木のり子を聞く会」と題して、講師は劇団うりんこ いのこ福代氏による朗読劇唐の上演を開催する予定です。

一色学びの館では、8月9日から11日にかけてMANABIフェスタを予定していましたが臨時休館のため延期します。4月19日から6月15日までの「倚りかからず」の詩人茨木のり子は本当に西尾に居た！と題した企画展示は多くの方に来館していただいています。残念ながら6月3日から休館となりました。

吉良図書館では、6月22日に歴史講座「江戸の本屋さん～「べらぼう」の時代に読まれた本」と題して、早川由美氏による大人向け講座を開催する予定です。

幡豆図書館では、6月15日に「めざせ！ムショラン三ツ星」を語ると題して、黒柳桂子氏による講演会を開催しました。黒柳氏は元西尾市の学校栄養士で、現在は岡崎医療刑務所で栄養士をされています。

令和7年度当初予算については、令和6年度と比較して88,741,000円の増額です。増額の主な要因は、14節工事請負費で吉良図書館空調設備改修工事と、おもちゃ館保存修理工事を計上したことによる増額です。令和6年度は工事請負費の予算計上はありませんでした。

図書購入費については、令和7年度は6年度と比較すると717,000円の減額としておりますが、蔵書は図書館運営の根幹をなすものと考えていますので、電子書籍も含め、購入冊数を維持できるよう努めてまいります。

本年度も「読書通帳」活用促進のためのイベントの開催や、市民ニーズに応えられる事業を行ってまいります。

##### (質問・意見)

- ・一色の茨木のり子さんの展示はとても良かった。
- ・「市民の声」の図書館運営で⑩の水漏れがあって弁償になった件について、実際に弁償した件数はどのくらいか。またどんなケースが弁償となるのか。  
⇒図書館の出入口付近に弁償となった本が見本として展示してあります。  
よくあるケースとしては、袋の中に本といっしょにペットボトルを入れてしまいペットボトルの水滴で本が濡れることがあります。ペットがかじってしまったということもありました。  
本を破ってしまっても、破れた部分を図書館へ持ってきていただいて、図書館で

補修できれば弁償の対象にはなりません。返却の時に利用者へ確認しています。基本的には現物弁償の形をとっていますが、購入不可の場合は現金で弁償してもらいます。紛失も弁償の対象です。

破れた箇所を利用者がセロハンテープで貼ると補修できないことや、修理用のテープがあることを周知していきます。

- ・指定管理が7月末までとのことだが、その後はもう決まっているのか。  
⇒吉良と幡豆の業務委託は入札により事業者が決まり、シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社になります。令和9年3月31日までの1年8か月をシダックスへ委託して、その後はまた決めます。
- ・内容や人がガラッと変わることがあるのか。  
⇒貸出や返却、レファレンス業務など、現在、業務委託で行っている内容は継続します。そのうえでシダックスが特色を出して利用者にとってより良いことを考えてくれればよいと思っています。  
勤務している職員については、個人の働き方の問題になると思います。シダックスへ移籍されるかもしれませんが、別の人間に変わる可能性はあります。

#### 議題（2）その他

特にありません。

※会長により西尾市図書館協議会を閉会